県産業廃棄物協会適正処理講習会

奄美市で開催　基礎知識など学ぶ

県産業廃棄物協会（三谷純夫会長）は25日、奄美市名瀬の大島郡医師会館で20年度産業廃棄物適正処理講習会を開いた。

同日は関係者45人が出席し、産業廃棄物の基礎知識や感染性廃棄物の処理等について学んだ。

講習会では、県大島支庁総務企画部県税課の岩田昭広課税係長が産業廃棄物税について税収の使い道や納税の仕組み・流れなどの説明を行い理解を求めた。続いて県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課の上園洋介主査が処理責任やマニフェスト制度等の産業廃棄物の基礎知識について講義を行った。

休憩を挟み同じく県の吉田健一技術主査が感染性廃棄物の処理について一般的事項から管理・委託・保管、廃棄物処分業者が行う感染性廃棄物の処分まで分かりやすく説明した。吉田氏は「まずはトップが十分に危険性を認識することが大事で、定期的に勉強会などを開き職員にも周知徹底を行ってほしい」と話した。

講習会終了後は受講者全員に受講修了書が交付された。

感染性廃棄物の処理等について学ぶ参加者
＝奄美市の大島郡医師会館で

北薩造園業協会研修会

樹木剪定の技術指導

北薩造園業協会（川内繁樹会長、会員9社）は22日、さつま町のウッドタウン宮之城でタウン内の「クスノキ剪定技術研修会」を兼ねた奉仕活動を実施した。

作業を前に県北薩地域振興局建設部土木建築課の北方智裕技術主幹兼建築係長が「技術講習を兼ねてではあるが県営施設の維持保全活動のご協力に感謝します」と言葉を寄せた。

同研修会には、会員のほか西日本緑化と宮下造園も参加。代表者をはじめ参加会員は次の通り。

阿久根緑化センター　石走造園　えいしん緑化　建設　川内緑造園　瀬口造園　川内林業　拓美庭苑　中越物産　村岡産業　西日本緑化　宮下造園

木に登ったり高所作業車を駆使して日ごろの剪定技術を披露。

江畑拓美技術員は、作業を進める若手技術者らに「樹木の特性や立地条件などを考えてはさみを入れる必要がある。また木の下から全体を見渡して指示する役目も重要」と、時折声を大にして指導・指摘していた。

また作業終了後は、同町のあび～る館で鶴薗真佐彦県議を迎え、入札制度や全国都市緑化かごしまフェア、がん検診など健康問題などについて講

剪定技術を指導する江畑技術員（右）
＝さつま町のウッドタウン宮之城で

大崎公民館が国の有形文化財に

誇り高き財産に

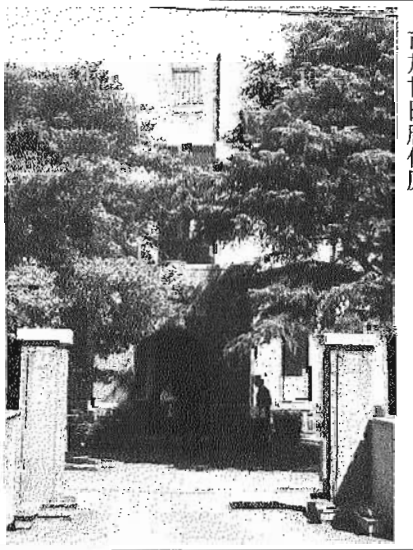
南さつま市加世田唐仁原の大崎公民館（旧・大崎報公義會館）がこのほど、国の有形文化財として登録（20年4月18日付）されたことを受け25日、現地で登録証および記念プレートの伝達式が行われた。

式には、同市教育委員会の出口教育長をはじめ有村生涯学習課長、同課文化係の永田氏、野口文化係長。受賞者側から吉峯幸一公民館長（代理）、中村正範大崎1・2区長、櫻木俊郎3区長、迫田寛次4区長らが出席。

冒頭、出口教育長が「この技の集大成を、貴重な文化遺産として後世へと残さねばならない」挨拶。これを受けて、吉峯公民館長（代読）が「これを機に、歴史と格式の高い本館を地元の誇り高き財産として後世へと残していきます」と謝辞を述べた。

続いて、登録証と記念のプレートが出口教育長から関係者らに手渡された後、出席者ら全員で建物内を見学。当時の匠らが残した偉大なる功績に思いをはせた。

同館は、明治の末期に石塀造りの会館として第一期工事に着手。その後、大正時代に会長の吉峯喜八郎氏の手によって第二期工事を計画。寄付金5000円を集め、大正末期に現在の洋風建物を竣工させた。建物の概要は、石造およびRC造平屋一部2階建て（建築面積309㎡）で、門扉（2基）および石塀はコンクリート造門柱で間口が3・5m、石造りで延長が66m。正面から望む堂々たる外観は、当時では県内唯一の青年会館と称され、大崎青年の心意気とそれを支えた大崎の経済力を象徴する建物であった。



有形文化財に登録された大崎公民館＝南さつま市加世田唐仁原

鹿実野球部が県庁表敬訪問

湊崎主将ら優勝報告

4年ぶり16回目の夏の甲子園大会出場を決めた鹿児島実業高校野球部の宮下正一監督、湊崎諭史主将ら7人が25日、鹿児島市の県庁を訪れ、仮屋基美副知事らに県大会の優勝報告を行った。

第90回全国高等学校野球選手権大会は、8月2日から兵庫県の阪神甲子園球場で開幕。鹿実ナインは、今月28日に鹿児島空港を出発、開会式翌日の8月3日午前8時30分試合開始の第1試合に臨む。

表敬訪問では、中釜一喜校長や宮下監督、濵田浩二部長、久保克之副部長、湊崎主将（3年生）のほか、松尾真太郎副主将（同）、尾堂大成マネジャー（同）の7人が県大会の優勝報告などを行った。

また、同校は勝ち進んだ場合、3回戦までの日程が決まっており、2回戦は8月10日の第1試合（午前8時30分～）、3回戦は13日の第4試合（午後4時～）となっている。

中釜校長は「厳しい戦いの連続だったが、本番ではさらに気を引き締め、県民に感動を与えられるような鹿実らしい試合をしたい」と甲子園に臨む決意を述べた。仮屋副知事は「実力は全国レベルに達している。決勝では知事も応援にいけると思う」とエールを送った。

仮屋副知事（左手前）に県大会の優勝を報告する鹿実野球部員ら＝鹿児島市の県庁副知事応接室で

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
［自動振替で］
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

必要な情報を必要な時に！　入札情報・企業情報・予算情報・建設情報・記事… etc
速くて豊富な情報　あなたのネットワークを拡げる
今日発表された入札情報や試験合格者が今日見られる便利さ。
あなたのパソコンで、ぜひお試し下さい。
Kiss web
おかげさまで開設10周年!!
只今　無料体験実施中！
URL http://www.kc-news.co.jp
建設情報のトップランナー
Kiss Web
■お問い合わせ
TEL.099-222-6123
FAX.099-222-6145
最新の情報を提供します！
建設ニュースが満載！